

## 第6回思川開発事業生態系保全委員会 議事要旨

日 時：平成20年7月27日(日) 13:20～16:00

場 所：独立行政法人水資源機構思川開発建設所 会議室

出席者：三島次郎委員長、青木清治委員、小金澤正昭委員、櫻井正美委員、  
杉田勇次委員、高橋滋委員(敬称略、五十音順)

議 事：

1. 前回委員会の議事録確認等

事務局より、第5回委員会議事録及び指摘事項の対応について説明があり、承認した。

2. 動植物ワーキンググループの活動報告

事務局より、動植物ワーキンググループの活動報告について説明があり、了解した。

3. 思川開発事業の工事工程について

事務局より、今後の工事の実施予定について説明があり、了解した。

4. 環境巡視について

事務局より、環境巡視の実施状況と今後の環境巡視計画について説明があった。これに対し、以下について確認した。

(1)ワーキングで審議対象とする環境巡視の範囲は、事業実施目的により改変する範囲であり、ワーキングでの審議結果が反映できない地元の補償工事等については、審議の対象範囲とはしない。

ただし、審議対象範囲外であっても、可能なものは保全対策を行って欲しい。

また、県、市に対しても、重要な環境情報を提供するなど、環境配慮へのアピールを行って欲しい。

(2)杓子沢の水路切替工事は、地権者の関係等から工事着手をしていないため、状況について今後の委員会で報告を受ける。

(3)保全を行ったものはモニタリングを行い、状況について、委員会で報告を受ける。

5. 動植物種リストの公表について

事務局より、平成13年度から平成19年度までに実施した調査結果をとりまとめた種リストの公表について説明があった。これに対し、以下のコメントをした。

(1)植物の植栽、逸出の判断は、注意を要する。そのため、リストには、確認された種は全て記載し、注釈で、植栽や逸出の情報を記載する。

(2)哺乳類の学名の表記は、種レベルでとどめる。

(3)魚類について、国内外来種の表記はやめ、特定外来種の表記はする。

(4)調査位置情報は、貴重な動植物の保護の観点から、資料-2のP3「調査地域位置図」以外の情報は掲載しない。

6. ムカシヤンマの確認状況報告

事務局より、ムカシヤンマの確認状況について報告があり、了解した。これに対し、以下のコメントをした。

(1)今日確認した場所は、周辺工事に伴い環境が変化する可能性があるため、観察を継続し、必要な場合は保全を行う。

(2)移殖できそうな場所の整備を検討していく。

7. 移植作業の進捗状況報告

事務局より、移植作業の進捗状況について報告があり、了解した。これに対し、以下のコメントをした。

(1)Aゾーンの山側に木本類を植え、日陰となる場所を作るとよい。

8. その他

事務局より、思川開発建設所における環境チェックシステムの改善について報告があり、了解した。

以上